

令和3年度 入学式式辞

さわやかな朝を迎えました。新たな生命が随所で躍動し、華やかなスタートを祝うこの佳き日に、保護者の皆様の御臨席を賜り、ここに、令和三年度 東京都立豊多摩高等学校 第七十六回入学式を挙行できますことを、心より御礼申し上げます。

ただ今、入学を許可いたしました317名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。高倍率の選抜を突破された皆さんの努力と成果に敬意を表し、教職員一同ご入学を心から歓迎いたします。

これまでずっとお子様を暖かく支えて来られた保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

本校は、昭和15年に東京府立第十三中学校として設立され、昨年度創立80周年を迎えた伝統校です。文武両道、自主自律、伸びやかな校風で知られています。教育目標は「平和で民主的な国家・社会の有為な形成者を育成する」とされ、卒業生は2万5千人に及び、学術・芸術・文化等、多方面で活躍、多くの著名人を輩出しています。

申し遅れましたが私、この春、第二十六代校長として着任いたしました、枋倉和則と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、新入生の皆さん。皆さんの前には、無限の可能性が広がっています。本校の新たな一員として、自分自身を発揮し、さまざまなことに挑戦してください。その姿を大いに楽しみにしています。夢と希望に胸をふくらませ、緊張感と清しい気持ちに満たされている皆さんの入学にあたり、ここで短く確認しておきたいと思います。

「あきらめたら、そこで試合終了だ」よく聞く言葉です。もちろん、あきらめずに努力を続けていただきたい。しかし、これに加えてもう一つ。「満足したら、おしまい」ということも覚えておいていただきたい。満足したら、成長がないということです。

ウォルトディズニーの言葉です。

Disneyland will never be completed. It will continue to grow as long as there is imagination left in the world. 「ディズニーランドは永遠に完成しない。世界に想像力がある限り成長し続ける」

この言葉は決して満足することのない、飽くなき挑戦を語っています。かみしめると、そもそも限界なんてないんだとも聞こえます。水泳や陸上では、毎年のように記録が更新されます。その記録の差はたとえ小さなものであっても、その意義は選手にとって、いや人類にとって、とてつもなく大きなものだと考えています。

「今日の成果は過去の努力の結果であり、未来はこれからの努力で決まる。」京セラ、KDDI

の創業者、稲盛和夫さんの言葉です。今、皆さんはこれまでの努力が実って豊多摩高校の門をくぐりました。しかし、それで満足しては、未来は開けません。未来は皆さんのこれからの努力次第です。飽くなき努力が、皆さんの高校生活を充実させ、3年後の進路にもつながると言えます。

これまで豊多摩の歴史の中で、皆さんの先輩方は、他とは一線を画す活発な活動を展開してきました。皆さんには、この伝統と恵まれた環境を存分に活かし、あらゆる機会を自分のステージとして、挑戦してほしいと願っています。

「挑戦」とは、これまで何となく自分が定めていた限界、このくらい頑張ればいいたろうという枠を脱却して大きな枠を得る、新たな自分を知る、自分の可能性への挑戦に他なりません。妥協や消極的な態度は本校の生徒としてふさわしくありません。今までの自分が驚いてしまうほどの新たな挑戦ができるのが高校生活です。

Challenge is your Chance to Change! チャレンジこそが変わるチャンス！**Challenge, Chance, Change** 三つの ch を記憶に留めていただきたい。

そして、もうひとつだけ。何よりも大切なものは、安全、すなわち皆さんの健康と命です。時代はコロナ禍。きちんと対策して学校生活を充実させることを念頭に置いてください。本校はそれができる学校だと確信しています。協力してコロナ禍を乗り越えましょう。

保護者の皆様、本日より三年間、お子様をお預かりいたします。高校生活は、お子様が責任ある大人として自立していく重要な過程であり、様々なことに遭遇する時期です。いつも楽しいことばかりではないかもしれませんが。常に温かく、時に厳しく見守っていただきますようお願いいたします。本校職員も、全力を尽くします。

未来を担う人材の育成という崇高な使命を自覚し、入学生の皆さんの限りない可能性を祝福して、式辞といたします。

令和3年4月7日

東京都立豊多摩高等学校長

枋倉 和則